

# 一療育研修一

## 「ピアカウンセラーについて」 「筋ジストロフィー患者の元気な生き方」

支部（宮崎）

講師 山中道夫 山下やす子 参加人数（41名）場所 青島サンクマールホテル

障害者自立支援法の施行による、三障害者代行による

下記とあるが、障害者同士が、より多くの弱点を補う。

自立支援=自分で自分自身が誰かの役割をこなすという意味

と持つもらうことや大切であると思ふ。

（二）障害当事者同士がお互いの弱点部分を補い合うことや、

丁度自分自身が実現できないところが受け取る差別や

社会的重圧を感じて理解するところが社会性活動を高めます、また

人が「あいだ」と言ふ際には必ず喜び、などの感情を実際に現

（二）感じてもらひ自分の自信が社会の一員であると実感できる場合に限ります

（三）本が「自信を取り戻す社会復帰であれば、我々支援者はもう少し

ひとつ本人が一番喜びを感じ、はまる意欲を取り戻していくことをめざします。

（四）（一）（二）、障害者当事者同士の交流や、自己啓発、社会参加の

活動を通じて、研修会を開催する。

# 一療育研修一

## 「ピアカウンセラーについて」 「筋ジストロフィー患者の元気な生き方」

支部（宮崎）

講師 山中道夫 山下やす子 参加人数（41名）場所 青島サンクマールホテル



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

・障害者の生活空間の充実を塗りやしることによること

多くの障害を持つ子供たちが、より、充実した生活が得られる

少子という下の子と共に共感しました。

・自分は、外で、住まいいた期間も長く、この分、自由も十分知つて

いまから、できれば、次の際の生活に振り向く、という希望を持った

いき方

※ 写真是、日本財団に提出する事業完了報告書に添付いたしますので、  
日本財団関係の書類に載る場合もあります。

※ 撮影の際は、参加者の方にご了承をいただくななどその点には注意してください。